



薬物乱用の話題

芸能人などが薬物を乱用して逮捕された・・・というニュースを時々耳にします。ニュースで耳にする「薬物」と、私たちが病院からもらう「薬(くすり)」は何が違うのでしょうか？

＜麻薬は医薬品として使用されています＞



法律で医療用に使用が許可されている麻薬(モルヒネ、フェンタニル、オキシコドンなど)は、主に鎮痛薬(痛み止め)として使用されます。医師の処方にしたがって服用していれば、依存症になることもなく、危険ではありません。

また、麻薬とは違いますが、睡眠薬、精神安定薬等、精神機能に作用する薬物(向精神薬(こうせいしんやく)と呼ばれます)があります。これらも有用な薬であり、医師の指示どおり服用していれば安全です。

＜薬物乱用とは？＞



病気の治療ではなく快楽を目的に使用した場合を乱用といいます。

麻薬を乱用した場合、強く麻薬を欲求するようになります。このような依存を生じる薬物は、麻薬以外にも大麻、覚せい剤などがあり、法律によって、それを持つこと(所持)や使用すること等が厳しく規制されています。最近乱用が拡大していると言われている、MDMA(エクスタシー)など合成麻薬もです。

向精神薬も、自分で勝手に大量に飲んだり、お酒と飲んだり・・・といった間違った使い方をした場合は危険です。

＜麻薬・大麻・覚せい剤・・・何が違う？＞

次に違法な薬物の話です。薬物とは言っても、麻薬、大麻、覚せい剤・・・等、いろいろ種類があります。原料となる植物の栽培も違法です。

種類	何から作られるのか	作用
麻薬	ケシ(あへん、モルヒネ、ヘロイン等)、化学的に合成(LSD、MDMA等)	抑制作用を有し、心配や不安が消え陶酔感が生じますが、量が多くなると呼吸抑制や昏睡等をきたす。
	コカ葉(コカインなど)	覚せい剤と同様の作用がある。医療では麻酔薬として使われることがある。
大麻	大麻草	幻覚作用を有し、気分や感覚などに変化をきたす。
覚せい剤	麻黄や石油などから化学的に合成	一時的には気分を興奮させるが、すぐになくなり、逆に激しい頭重感、気分の落ち込み、疲労感などが現れる。

テレビなどで薬物乱用のニュースが出ると、患者さんから時々質問を受ける話題でしたので、今回、簡単にまとめてみました。

薬物乱用防止の「ダメ。ゼッタイ。」ホームページも参考にしてください。

<http://www.dapc.or.jp>